

MEIROH

2023,Dec.
NO.97

25th Anniversary



社会福祉法人
光明会

to be continued...

光陰矢の如しとは真実なり がむしゃらに駆け抜けた25年間

社会福祉法人光明会
理事長 小澤 定明



社会福祉法人光明会創立25周年を迎えて

光明会は、令和5年10月15日をもって創立25周年を迎えることができました。

平成10年10月15日付で千葉県知事より社会福祉法人の設立認可を受け、平成11年8月1日に障害者支援施設説明朗塾（当時は知的障害者授産施設）を開設いたしました。障害者が働くことで人の幸せに貢献するという人間としての自立を目指して駆け抜けてまいりました。

開設時の苦労を思い返すと今でも胸に込み上げてくるものがあります。どんな時も私を信じて支えてくれた妻小澤美都子には感謝しかありません。ひとえに、光明会が今日を迎えることができましたのは、地域の方々、取引先企業の方々、議会関係の方々そして広域にわたる福祉関係を初めとするすべての関係者の皆様のひとかたならぬご支援とご指導の賜物でございます。あらためまして心より感謝申し上げます。

第二創成プロジェクトの完遂と創立50周年を望む

創立25周年を迎えるこの時を光明会の第二の創成と位置づけました。第二創成に向けて平成30～令和4年度の5年間を新しい創成への準備期とし、次の25年間のあり方を問い、継承すべきもの、改めるべきもの見極める力を組織に備えさせ、不確実性への挑戦をする組織マネジメント体制の構築に取り組んできました。

第二創成プロジェクトにより不確実な事業環境に適応し、かつ組織規模拡大を支えるCEO（副理事長小澤啓洋）を中心とした組織マネジメントシステムの確立と新たな社会福祉法人の使命に立脚し、光明会は社会福祉連携推進法人光る福祉の設立に参画しその構成社員となりました。

また、創業理念に永遠性を持たせ次代を担う法人職員の思想的基盤となる「ABOUT HIM」を株式会社S・Yワークスの支援を受けて完成させ、無事に令和5年10月28日に挙行了した創立25周年記念式典でお披露目することができました。式典の開会にあたり、述べさせていただきましたが、創立50周年に向けては全てを次世代に託します。混迷を極める社会情勢の中にあって、進むべき道には様々な困難が待ち受けていると思いますが、その時には「ABOUT HIM」に記した創業原点に立ち返り、信じた道を、勇気をもって迷わず進んでいただきたい。そして私が夢見た心豊かな福祉社会の実現に向けて一意専心に邁進されることを期待しております。

経営力の強化につなげる 千載一遇の機会

副理事長 小澤 啓洋
(CEO・最高経営責任者)



令和6年度障害福祉サービス等報酬改定を経営力強化の機会に

ご存じのとおり障害福祉サービス等の報酬は3年に一度の改定が行われます。令和6年4月は診療報酬と介護報酬も同時に改定される6年に一度の重要かつ大規模な改定が予想されています。厚生労働省が設置する社会保障審議会・障害者部会の障害福祉サービス等報酬改定検討チームでは今まさに改定に向けた協議が重ねられています。ここでは報酬改定の詳細な内容については触れませんが、どのような改定であろうともこの機会を活用することが重要であります。この改定に対応していくことは、すなわち不確実な事業環境に適応することであり、第二創成プロジェクトで構築した組織マネジメントが果たすべき役割となります。第2期がスタートしたばかりではありますが、早速その真価が問われる機会となりました。特に、新たに制度化される「就労選択支援事業」や「一人暮らし等の希望を実現、支援する共同生活援助事業」「相談支援の質の向上や提供体制の整備」「障害者の意思決定の更なる促進」「地域生活支援拠点としての役割の明確化と地域移行の促進」等に向けた法人内の体制整備を進めて、この改定を光明会の経営力強化につなげていきたいと思っております。

ISO9001のリスク及び機会の取り組みから成すべきことが見えてくる

報酬改定は良い意味でも、別な意味でもリスクであり、機会でもありますから、光明会が今後何を成すべきかについては、品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001に規定される「リスク及び機会への取り組み」が参考になります。

6.1 リスク及び機会への取り組み

6.1.1 品質 マネジメントシステムの計画を策定するとき、組織は、4.1 に規定する課題及び 4.2 に規定する要求事項を考慮し、次の事項のために取り組む必要があるリスク及び機会を決定しなければならない。

- a)品質マネジメントシステムが、その意図した結果を達成できるという確信を与える。
- b)望ましい影響を増大する。 c)望ましくない影響を防止又は低減する。 d)改善を達成する。

(引用：品質マネジメントシステム-要求事項-JISQ9001：2015 平成27年11月20日改正 日本規格協会発行)

リスク及び機会への取り組みを要約すると、①望ましくない影響には対策を取りその影響を防止または低減する。②望ましい影響にはその影響が更に大きくなるように対策する。ということです。

では光明会として何を成すべきかということ、まずCEOは報酬改定によるリスクと機会を分析し、その実態を的確に捉え、事業への影響を評価します。そしてその評価に基づき経営方針を作成することになります。さらには、リスク及び機会では「4.1組織及びその状況の理解」及び「4.2利害関係者のニーズ及び期待の理解」を考慮することが求められていますから、CEOは支援現場の理解が不可欠となり、支援現場の実態を考慮した経営方針を作成し、具体的なアクションプラン（事業計画）を取りまとめていくことになるのです。

日本郵便年賀寄付金配分事業、JKA公用車贈呈御礼



【目録をお持ちになる野平浩明様・理事長小澤定明】

【公益財団法人JKA様から贈呈された公用車】

令和5年8月28日（月）に日本郵便株式会社様から2023年度年賀寄付金配分事業により、日産キャラバンを贈呈いただきました。9月7日（木）には日本郵便株式会社千葉県印旛地区連絡会地区統括局長（豊住郵便局長）野平浩明様はじめ関係者の方にご来訪いただき「2023年度日本郵便年賀寄付金贈呈式」を執り行いました。

また10月26日（木）に公益財団法人JKA様から2023年度補助事業（就労支援車両の整備）により日産キャラバンを贈呈いただきました。

贈呈いただいた車両は当法人施設をご利用になられるお客様の送迎車として大切に使用させていただいています。改めまして日本郵便、JKAの皆様、まことにありがとうございました。

広報紙 Meiroh 読者の皆様

2023年5月8日に迎えたターニングポイントは、新型コロナウイルスとの共存する日常生活に大きな変化をもたらしました。未だウイルスは変異を繰り返し、その存在は確かなものではありませんが、以前に比べるとその存在感は大きくありません。

これまでの日常を取り戻すきっかけとなった令和5年はまもなく年の瀬、すぐに新しい年を迎えます。今年一年の皆様からの多くのご支援ご厚誼に深く感謝申し上げます。

ぜひ明朗塾特製の正月幸福飾りとともによいお年をお迎えください。

社会福祉法人光明会 理事長 小澤定明

小澤定明の夢を支えた関係者180人が集う



(式典の開会にあたり、主催者挨拶をする小澤定明理事長)

令和5年10月28日（土）に社会福祉法人光明会創立25周年記念式典を開催しました。創業者である理事長小澤定明の想いと感謝を伝えるため、ホテル日航成田を会場にこれまで当法人を支えてくださった多くの方にご臨席いただきました。法人が創立してから25年が経ちましたが開所当時から現在に至るまでさまざまな困難がありました。この困難を乗り越えるには光明会の力だけでなく関係する数多くの方々のお力添えいただいたおかげで今日があります。この式典は光明会が創立して25年間お支えくださった方々へ、理事長小澤定明が直接感謝する場を作りたいという思いから企画されました。

当日は地元、八街市長北村新司様をはじめ、成田市長小泉一成様、多くの衆議院議員・参議院議員、千葉県議会議員や八街市議会議員の皆様、各福祉団体やお取引先企業、地域の方々、そして障害者支援施設明朗塾の開設以来の福祉サービスをご利用されている方々にお越しいただき御礼をいたしました。

式典では多くのご来賓の皆様より祝辞、祝電をいただきました。そして法人創立25周年記念事業紹介として「ABOUT Him Sadaaki Ozawa」を副理事長小澤啓洋より説明いたしました。式典後には、ご出席された皆様にお食事を楽しみながらご歓談していただく祝宴をご用意いたしました。祝宴中のアトラクションとして茨城県筑西市にある社会福祉法人征峯会障害者支援施設ピアしらとりの知的障害のある利用者様と職員約20名で構成されたしらとり太鼓の演奏を披露いただきました。しらとり太鼓の代表曲「しらとり舞龍」では太鼓の迫力ある音と4体の龍による華麗で荒々しい演舞が行われ、祝宴を一層盛り上げていただきました。祝宴の最後には地域共生社会推進本部長小澤孝延より、ご臨席の皆様へ改めてこれまでの感謝をお伝えし、閉会しました。

ここから、さらに25年後には光明会創立50周年を迎えられるよう職員一同感謝の気持ちを忘れず、引き続き社会福祉に一意専心していくための良い機会となりました。最後にこれまで25年間支えてくださった多くの皆様への感謝と今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をいただけますと幸いです。



(乾杯する副理事長・理事長・専務理事)



(アトラクションに引き込まれるお客様)



(御礼挨拶をする小澤孝延)



(理事長を囲み運営スタッフの集合写真)

【創立25周年記念式典・祝賀会タイムスケジュール】

11:00~11:05	オープニングムービー上映
11:05~11:15	主催者挨拶 理事長小澤定明
11:15~11:50	祝辞・来賓紹介・祝電披露
11:50~12:05	法人創立25周年記念事業紹介 ABOUT HIM Sadaaki Ozawa 説明 副理事長小澤啓洋
12:15~13:45	祝宴・歓談
(13:00~13:30)	アトラクション しらとり太鼓演奏披露
13:50~13:55	御礼挨拶 地域共生社会推進本部長小澤孝延
13:55~14:00	エンドロールムービー上映

第97回お客様感謝デー

企業向けセミナー&名刺交換会

基調講演「障がい者雇用の実践とその取り組み」

令和5年10月13日（金）に第97回お客様感謝デーの企画として「企業向けセミナー&名刺交換会」をホテル日航成田にて、昨年に引き続き開催しました。

昨年度の開催では、多くの企業、特別支援学校の先生方にご参加いただき企業の雇用実践や特別支援学校での就職活動事例など多くの意見交換に繋がる機会となりました。昨年度の状況を受け、当法人として企業、学校、福祉が繋がる機会といたしたく今年度も開催する運びといたしました。

今回の基調講演では、ブックオフグループの特例子会社ビーアシスト株式会社人財開発部長 深水清志様、東千葉事業所長 天野圭子様「障がい者雇用の実践とその取り組み例」というテーマで、ご講演いただきました。

深水様のご講演では、ビーアシスト株式会社での業務紹介や、会社全体での雇用への想いについてお話しいただきました。また、障害者が長期的に働き続けるための支える仕組みについて生活面でのサポートやライフステージに応じた対応が必要であるとのことでした。長く安定して働くためにも、日々のコミュニケーションや会社側のスキルアップの必要性、支援機関や専門家との連携の重要性について実践内容を含めご紹介いただきました。

天野様のご講演では、東千葉事業所の取り組みについて、事例や動画を活用しお話しいただきました。特にケースの紹介については、働く従業員へのフォローの仕方や、コミュニケーションの大切さについて改めて考えるきっかけとなりました。参加された方々も聞きながら講義を聞いていました。



▲講演する深水清志氏 天野圭子氏

【企業向けセミナー&名刺交換会の内容】

13:35~13:40	開会挨拶 社会福祉法人光明会 副理事長 小澤啓洋
13:40~14:45	【第1部】 基調講演 「ビーアシスト株式会社 障がい者雇用の実践と取り組み」 講師 ビーアシスト株式会社 人財開発部長 深水清志氏 東千葉事業所長 天野圭子氏
15:00~15:40	【第2部】 名刺交換&懇談会
15:40~15:45	閉会挨拶 社会福祉法人光明会 副理事長 小澤啓洋

第2部では参加された企業のご担当者様や特別支援学校の先生方の名刺交換会を行いました。今回の名刺交換会では、グループごとにテーマを設け、テーマを基にした話し合いや、ご講義いただいた内容の感想からそれぞれの職場での取り組みなどについて懇談いただきました。すべての参加者の方が活発に名刺交換を行い、多くの情報共有が交わされるなど、とても有意義な時間となりました。

引き続き、当法人では障害者雇用促進のために企業様向けのセミナーや情報発信を計画していきますのでご期待ください。



▲講師のお二人へ多くの質問がありました。



▲雇用支援事例に関する意見交換

障害者雇用の実践を見に行こう ビーアシスト株式会社東千葉事業所見学ツアー

令和5年11月14日（火）ビーアシスト株式会社東千葉事業所様にご協力いただき事業所ツアーを開催いたしました。今回の事業所見学ではビーアシスト株式会社の障害者雇用に関する取り組みや支援に関する工夫などを間近に見せていただくことができました。特に、ご説明をいただくなかで、障害者のキャリア形成の仕組みについては、参加された皆様の関心も強く、多くの質問と意見交換がありました。障害のある方のキャリア形成については、ビーアシスト株式会社独自の尺度に基づきながら、定期的なフィードバックを行い、自身のキャリアについて確認を行うのだそうです。また、定期的な振り返りの際に、目標設定を行うことで、自身の頑張ることが明確になるとお話しがありました。

また、事業所見学を通じて一番驚いたことは、働く障害のある本人から、各作業のご説明をいただいたことです。他の視察や見学においても働く障害のある皆様から直接仕事についての説明を行っているそうです。その理由について深水様にお伺いしたところ、外部の人から評価を受けることで、働くモチベーションにも繋がるからとのことでした。今回の見学に参加した職員も気持ちの良い丁寧な対応に本当に嬉しく感じた瞬間でした。説明の最後には、働くスタッフの方から、働いている感想や、今後の目標について発表をいただきました。参加された皆様におかれもしても今回の見学で学ばれたことやお気づきの点に関しては、ぜひ各職場においてお取り組みいただければ幸いです。

（文責 キャンパス長 森田拓実）



▲働かれている障害のある方が見学者に説明



障害者雇用への想い

障害者雇用は企業の社会的責任である

レンゴー株式会社 千葉工場

▲写真左 総務部長 八木橋史秋氏

▲写真右 総務課担当課長 小代武典氏

今回は障害者雇用特集として「レンゴー株式会社 千葉工場」を特集いたします。

「パッケージングで、暮らしを支え、未来をつくる。」

(レンゴー株式会社ホームページ <https://www.rengo.co.jp/index.html>より引用)

レンゴー株式会社は1909年に創業した会社です。創業者が日本ではじめて「段ボール」と命名して世に送り出しました。主軸事業である段ボール事業の他、製紙事業・紙器事業・軟包装事業・重包装事業・海外事業の6つのコア事業を展開しています。

加えて、クリエイティブ&研究開発の力を用いて、単に製品を供給するだけではなく、自ら未来をデザインして新たな市場を創出するパッケージプロバイダーとしての役割を担っています。

ライフスタイルの変化や環境意識の高まりとともに、包装に求められるニーズは多様化・高度化しています。用途に合わせた最も優れたパッケージング（包装）を提供することでお客様の商品の価値を高めています。

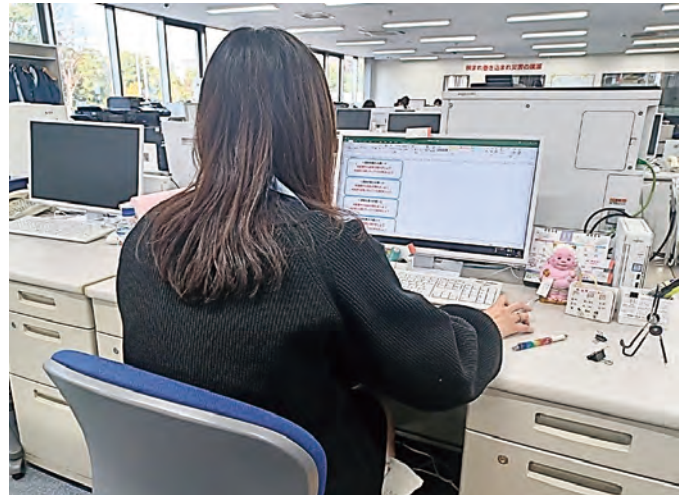
レンゴー株式会社千葉工場は、佐倉第三工業団地内に位置しています。

当社の段ボール工場は受注から出荷まで一貫して段ボール製造を手掛けています。これまでに培った品質の維持、向上、改善に努めるほか、環境保全活動に積極的に取り組み、環境負荷の少ないモノづくりを目指しています。

(今回はレンゴー株式会社 千葉工場総務部長 八木橋史秋氏・総務部担当課長 小代武典氏にインタビューを行いました)



▲インタビューに応じる八木橋史秋氏、小代武典氏



▲事務仕事に携わるA様

障害のある方への配慮について（八木橋史秋氏 小代武典氏）

レンゴー株式会社千葉工場では現在、4名の障害のある方を雇用しています。身体障害者手帳、精神保健福祉手帳を持っている方が働かれています。

千葉工場で働かれているA様は庶務、労務担当者の事務補助、来訪者対応を担当されています。

令和5年10月から施行されたインボイス制度等、法や制度が目まぐるしく変化する中、一つひとつの業務を着実に取り組んでおられます。

障害のある方が働く上で配慮している点は、業務時間内に無理のない範囲で仕事を行っていただくことです。

事務仕事は業務内容が多岐にわたりますが、業務時間内に仕事を終わらせるように従業員間で仕事内容を調整しています。

また、仕事を行う上での情報交換や指示をする際に、丁寧でわかりやすい言葉で伝えるようにしています。定期的に面談を行い、価値観の違いやお互いの認識の相違が生じないように、1対1ではなく他の従業員も同席し話を聞くように心がけています。さらに、障害者就業・生活支援センター就職するなら明朗塾の職員様に定期的に会社を訪問、勤続支援を行なっていただいております。仕事上での相談や、企業が関わるのが難しい生活上での課題や困りごとについて聞き取りを行うなど、ご本人と企業担当者との間に立って課題に対して向き合っていただいております。心強い存在になっています。

障害者雇用は企業の社会的責任である（八木橋史秋氏）

障害者雇用について悩んでいた時期に、特別支援学校から知的障害のある方の実習の依頼を受けました。

工場内の作業は段ボールを製造する工程上、危険な作業が生じます。そのため、障害のある方はルールが守られないのではないかと、仕事を行うのは難しいのではないかと考えていました。

しかし、「多くの仕事を行うのは難しいが、言われたことは守ることができます」と特別支援学校の先生から話を伺い、受け入れを行いました。与えられた作業に対して真摯に取り組む姿を見て、障害のある方への見方が変わりました。

現在、千葉工場で働かれている4名の障害のある方は、適材適所で会社の働きに貢献されています。障害のある方を雇用することは企業の社会的責任であり、偏見を持ってはいけなないと考えています。障害があるから雇うのは難しいと考えるのではなく、視点を変えることが求められています。その方に適した仕事を提供することで双方にメリットが生まれるのではないのでしょうか。

（文責 就業支援担当 吉田 翔）

地域に一番貢献する事業所を目指す ウエルネス倶楽部・明朗カレッジ

令和5年11月1日より就職するなら明朗アカデミー・八街キャンパスは事業再編をし「ウエルネス倶楽部・明朗カレッジ」として生まれ変わりました。事業再編を行った背景には利用顧客やその保護者様から「(就労移行支援事業の標準利用期間である) 2年間の短期間では就職まで考えるのは短い」「もっと自分のペースで就職を考えたい」などのご希望をいただく場面が多くありました。就労移行支援事業の標準利用期間(24か月間)では「自らの歩みたいペース」で就職を目指されるご希望にお応えすることは制度的に難しいと実感していました。

そこで就職するなら明朗アカデミー・八街キャンパスは、従来の就労移行支援事業の定員20名を10名とし、新たに就労継続支援事業B型(定員10名)の事業を追加しました。フィットネスジム・サイクルハウスの運営業務に利用顧客が積極的にに関わり、働くことで報酬(工賃はその一部)を得ながら経験を積み、就職ができる事業所を目指すことといたしました。事業所名も新たに「ウエルネス倶楽部・明朗カレッジ」としました。ウエルネスには「より生き生きとした人生を積極的に目指す」、倶楽部には「ともに楽しむ」という意味があります。ウエルネス倶楽部に関わる地域の皆様と共に人生をより積極的に楽しむというメッセージを込めました。ウエルネス倶楽部・明朗カレッジは「人に、地域に、社会に貢献する活動」を通じて人生を豊かにする就職支援を実践いたします。

ウエルネス倶楽部・サイクルハウスでの「働く」プログラム紹介



▲ジムの運営管理業務が中心です。 ▲館内、館外の清掃を行い、実践的に働くスキルを習得します。

ウエルネス倶楽部・駄菓子屋あみゅーず オープン予定!

今後は施設内にウエルネス倶楽部・駄菓子屋あみゅーずを開設し、お子さまも大人も楽しめるコミュニティを目指します。地域の方々駄菓子屋を通じて楽しい思い出を作り、懐かしい思い出に浸れるような駄菓子屋コミュニティを創造したいと考えています。現在は開店に向けて準備中ですが、令和6年1月9日(火)のオープンを予定しています。地域の皆様をはじめ、多くの皆様のご来店をお待ちしております。



(文責 事業管理者 兼坂 渉)

▲駄菓子屋あみゅーず (イメージ画)

たくさんの笑顔が絆を深める 令和5年度 第2回おざわ杯



▲声高らかに選手宣誓を行いました！

～おざわ杯とは～
光明会全職員が参加する親睦を深めるために年2回開催するイベントです！今年度2回目となる今回は、運動会コースとインドアコースに別れ、職員チーム対抗のトーナメント戦を企画しました！

【インドアコース】
インドアコースでは、ウエルネス倶楽部・明朗カレッジを会場に、ピンポン玉を的に入れる「ピンポンゲーム」「ジェスチャーゲーム」を行いました。ピンポンゲームは、明朗カレッジにある卓球台を使用し、反対側にある紙コップの的を狙いましたが、なかなか入らず、入った時には歓声があがりました。また、ジェスチャーゲームでは、全力で表現を行い、笑いにあふれた時間となりました。



▲運動会&インドア優勝チーム合同で記念撮影！



【運動会コース】
運動会コースでは、明朗塾の広場を会場に「玉入れ」やカードに書かれたお題に合わせた動きでゴールを目指す「お題競争」、全チーム総当たりの「綱引き」の3種目を行いました。前日との気温差が10℃ほどある寒空の中、各チーム全力を出し切り、白熱した運動会でした！



第31回職業リハビリテーション研究・実践発表会

就職するなら明朗アカデミー・白井キャンパス 指導員 山中理恵

令和5年11月9日（木）に東京ビックサイトにて行われた第31回職業リハビリテーション研究・実践発表会にてドコモ・プラスハーティ小笠原拓様と共同発表をしました。障害者の社会的自立のために、働くことを通じた課題解決に向かう「態度」の醸成が重要です。この発表では小笠原拓様が「態度の6階層」理論（菅野2015）をもとに「態度のチェックリスト」を作成。同リストによる障害者の作業・就労支援の体系的な整理について報告がありました。次に私から就労支援現場での同リストの活用例として就職するなら明朗アカデミー・白井キャンパスでの事例を報告しました。質疑応答では時間いっぱいまで質問がありました。共同発表のおかげで20名程の方と名刺交換ができました。約160名の聴講者がいて緊張しましたが無事に終わり、安堵しました。これからも障害のある方のため、社会のために研究と実践を続けていきます。（文責 指導員 山中理恵）



明朗塾 指導員 高山剛志

好きな食べ物

お寿司

皆さんに一言

この職種ははじめてなので、
たくさんの方を学びます。



新人職員紹介



Happy Wedding!

結婚報告

光明会職員2名が結婚しました。

おめでとうございます♡

末永くお幸せに！

明朗塾 指導員 力榮孝大

この度、9月18日にブラジル国籍の女性と結婚いたしましたので報告します。

ふたりで力をあわせて幸せな家庭を築けるよう頑張ります。

就職するなら明朗アカデミー
白井キャンパス 指導員 山中理恵

この度、結婚し木村理恵から山中理恵になりました。

光明会には人生経験が豊富な方が多くいるので、多くのことを学んでいます。学んだことを結婚生活にもいかしています。

今後ともどうぞよろしくお願いたします。